

# 学会誌「自己血輸血」投稿規定

2023.06.16

一般社団法人日本自己血輸血・周術期輸血学会  
編集委員会

投稿規定を参照の上、投稿をお願いします。

## 投稿に関する重大な原則

- 筆頭著者(連絡責任著者)と共同著者はともに日本自己血輸血・周術期輸血学会会員であること。
- 表題用紙の全項目のチェックボックス部分にチェックする(○を付ける)こと(チェックのない論文は受け付けられない)。
- 論文指導者(論文の責任医師)の論文校閲を受けること。
- 図表は提出前に白黒(モノクロ)印刷で識別可能か確認すること(写真を除く)。
- 本文原稿と図表原稿とは別ファイルで送付すること。本文中への図表の貼り付けは避けること。

### • COI 報告書について

筆頭著者(連絡責任著者)は投稿時から遡って過去 2 年間以内における 利益相反 (COI) 状態を投稿規定に定める様式 (2-A 自己血輸血:自己申告による COI 報告書)を用いて提出しなければならない。共著者も筆頭著者(連絡責任著者)がまとめて提出する(報告書様式は学会誌に掲載しているが学会ホームページから down load 可能である)。

COI 報告書の記載内容は、論文末尾 謝辞(Acknowledgments), または引用文献の前に掲載する。規定された COI 状態がない場合は、「著者の COI 開示:本論文発表内容に関連して特に申告なし」を同部分に記載する。

## 論文募集資格

### 1. 論文等の内容

原著、総説、報告、症例報告、短報、機器紹介、論文記事(二次掲載)、その他、など、自己血輸血の臨床、研究に貢献しうるものとする。

なお、ヒトを対象とした研究は世界医師会総会で採択されたヘルシンキ宣言を遵守して行われたものであること、また、動物を扱った研究は総理府告示「実験動物の飼育及び保存等に関する基準」に基づいた各施設のガイドラインに則って行われたものであることが必要である。

## 2. 投稿資格

全ての著者が会員でなければならない。

他誌に掲載されたもの、あるいは投稿中のものは受け付けない(二次掲載 acceptable secondary publicationについては巻末を参照ください。)

## 論文投稿

### 1. 投稿ファイルの準備

- 表題用紙、論文、図表、COI 報告書をすべてコンピューター入力した上で、それぞれ別のファイルとして用意する。
- 本文原稿と図表原稿とは別ファイルとし、本文中への図表の挿入は避けること。
- 全著者の投稿への了解、論文指導者(論文の責任医師)の論文校閲、全著者の COI 報告書提出は必須である。

#### 1)表題用紙(規定の MS-Word 使用)

- 1) 論文種別(原著, 総説, 報告, 症例報告, 短報, 機器紹介, 論文記事, その他)
- 2) 表題・著者名・所属施設名・3語以内のキーワード(すべて日本語・英語併記)
- 3) 原稿内訳(本文の頁数, 図の枚数, 表の枚数)
- 4) 筆頭著者(連絡責任著者)の氏名, 所属施設・部署名, 〒, 住所, 電話番号, 携帯電話番号, fax 番号, e-mail アドレス
- 5) チェックボックスへのチェック記入

#### 2)論文(MS-Word のみ)← PDF は不可

本文, 文献, 図表のタイトルと説明(legend)

#### 3)図表(MS-Word, パワーポイント, エクセル, JPEG):原則として PDF は禁止

#### 4)COI 報告書(規定の MS-Word または PDF 使用)

電子入力または手入力後に署名押印し, スキャン後に PDF 文書を作成下する。

## 2. 論文の採否

編集委員の査読を経て, 編集委員会の協議のうえ採用を決定する。なお, 論文体裁の統一をはかるため, 編集委員会の責任において, 多少, 字句・図・表の訂正を行うことがある。

## 3. 送付方法と送付先(日本自己血輸血学会ファイル登録サイトへアップロード)

- 1) MS-Wordなどのファイル
  - 2) ファイルをPDF化したもの(確認用)
- 上記1)と2)の双方をアップロードください。

● アップロード先:「日本自己血輸血学会ファイル登録サイト」へアップロードください。

「日本自己血輸血学会ファイル登録サイト」の URL は, 学術総会会場でお配りした「論文投稿のお願い」に記載していますので, ご参照ください。

URL が分からない場合は, 事務局へメールで会員番号, 氏名を明記の上お問い合わせください。

## 執筆要綱

### 1. 論文記載上の注意

- 1) 本文の文章の配列は(1)はじめに(序文), (2)対象・方法(もしくは方法), (3)結果, (4)考察, (5)結語, (6)文献, (7)図表のタイトルと説明(legend)とする。
- 2) 論文は口語体, 当用漢字, 現代かなづかいとし, 改行の際は先頭の1文字をあげる。文体は「です・ます」調ではなく, 「である」調に統一する。
- 3) 用語には日本輸血学会認定の用語(日本輸血学会雑誌 40(4):会告Ⅲ1~17, 1995)を用いる。
- 4) 文中の外国語は当該国語に準拠すること。ただし日本語化したものなどはカタカナ, または日本語を用いる。  
(例)catheter → カテーテル, cardiopulmonary bypass → 人工心肺
- 5) 薬品名は一般名とし, 慣用されているものはカタカナを使用する。  
(例)リドカイン, ジギタリス, ヘパリン  
商品名の方が理解されやすい場合には以下のごとく品名の右肩に® を付ける。  
(例)isosorbide dinitrate → ニトロール®
- 6) 数字は算用数字を用い, 度量衡の表示はCGS 単位を用いる。
- 7) 送付された図・表はすべて縮小される。縮小されて十分読みうる文字, 図形などで構成されていることに留意すること。なお, 送付された図, 表, 写真などは原則として返却しない。

### 2. 論文の長さの制限

- 1) 原著:原則として刷上り10 頁以内
- 2) 総説:原則として刷上り12 頁以内
- 3) 報告, 症例報告, 機器紹介, その他:原則として 4 頁以内

### 3. 文献の記載法

- 1) 引用文献は必要最小のものに限り, 20 編程度とする。
- 2) 引用文献は本文中に出てくる順序で, 本文の末尾にまとめて記載する。本文中の該当部には番号, 1), 2), 3)・・・ を右肩に付けること。

**本文中の右肩に引用箇所が明示していないものは文献とは認めない(参考文献は認められない)。**

#### 3) 文献の書き方

(1)雑誌の場合:著書名(first author を含め3 名まで, 以下“他”または“et al.”):論文名. 雑誌名(略号はIndex Med. 採用のもの)巻:頁(初めと終わりの頁), 発行年する。

下記記載例参照のこと。抄録の場合は末尾に「(抄録)」を記載のこと。

- 1) Schaff HV, Haver JM, Bell WR, et al.: Autotransfusion of shed mediastinal blood after cardiac surgery (A prospective study). J Thorac Cardiovasc Surg 75: 632-638, 1978
- 2) 牧野茂義:虎の門病院における自己血輸血のリスクマネジメント. 自己血輸血25: 19-25, 2012
- 3) ○○ ○○:副作用…………の実態調査. 自己血輸血 ○○:S42, 2008(抄録)

(2)書籍の場合:例aあるいは例bとする。

(例a) 著者名(雑誌の場合と同じ):書籍名, 発行者, 発行地, 発行年, 総頁数

尾浦正二:癌性骨疼痛に対するパミドロネート療法, 金原出版, 東京, 1997, pp130

(例b) 著者名(雑誌の場合と同じ):論文名, 編集者名, 書籍名, 発行者, 発行地, 発行年, 頁(初めと終わりの頁)

Bell WR: Hematologic aspects of autotransfusion. In: Autotransfusion

Elsevier/North-Holland, Hauer, J. M., Thurer, R. L., Dawson, R. B. ed., New York · Amsterdam · Oxford, 1981, pp68-72

## 別刷

- 別刷希望者に対し, **最低30部**から実費で提供する。
- 著者校正の際に必要な部数を記入すること。

## 著作権

- 本誌に掲載された論文の著作権は一般社団法人日本自己血輸血学会に帰属するものとする。
- 本誌に掲載された論文はインターネットで公開する。
- 雑誌および電子引用に際して得られる許諾料は日本自己血輸血学会の収入とする。

## 二次掲載について

日本自己血輸血学会では, 他の言語ですでに掲載された論文(オリジナル論文)を和文で二次掲載することは二重投稿ではなく正当なもの(acceptable secondary publication)と認める。以下の点を遵守すること。

その場合は, 論文記事(二次掲載)として投稿すること。

- 1) すでに掲載された論文であること。
- 2) 著者はオリジナル論文の編集者から当学会誌への二次掲載許可書を得ていること。
- 3) 論文記事として投稿する際に, 前述の二次掲載許可書とオリジナル論文のコピーあるいは別刷りを添付すること。
- 4) オリジナル論文と論旨を変えないこと。執筆者は同一(順不同)であること。
- 5) 二次掲載版のタイトル・ページの脚注に, その論文の全体若しくは一部がすでに掲載されている旨を明記し, さらに初出文献も示すこと。  
例:この論文記事は,「…」に最初に報告された研究に基づくものである。
- 6) 文献を記載する際, 日本語文献は日本語で表記すること。

以上